

サンゲツより米の壁装材製造販売会社を買収する旨のお知らせがあった

株式会社サンゲツより2016年11月14日付で、
米国における壁装材製造販売会社であるKoroseal Interior Products Holdings, Inc.社(以下、Koroseal)の現在の株主であるPrivate Equity Fundの Peak Rock Capital の関連会社を含む株主から、Korosealの全株式を取得することが決定した旨のお知らせがあった。

下記に株式会社サンゲツからのお知らせの一部を記載します

【記】

本件の目的

Korosealは米国において主に壁紙、プレゼンテーション用壁装材、壁面保護材等をホテル、オフィス、商業施設、学校、病院など非住宅向けに販売する壁装材製造販売会社であり、この分野において米国内最大のシェアを有しています。また業界最大規模の営業人員によって、デザイナー・設計(以下specifier)・事業主等の内装材料の決定権者から顧客である施工業者まで幅広くカバーし、市場や顧客との強固なネットワークを有する営業体制を構築しています。

同社は36のブランドと12,000種の商品を展開し、多数のspecifierに活動し、10,000社以上の顧客に販売することで顧客、商品に偏ることのない分散型の事業構造を有しており、商品面や営業面において当社の事業形態と酷似していることから、今後、早期の相互理解やインテリア事業におけるシナジー効果の発揮が期待できます。

当社は中期経営計画Next Stage Plan G(2014-2016)において「強靱で成長力のある企業」を目標に掲げ、

- ① 事業基盤の整備
- ② 事業戦略の再構築
- ③ ステークホルダーの評価向上

の諸施策を実行していますが、2015年10月に壁紙の製造メーカーであるウェーブロックホールディングスへ出資を行い仕入先との新たな関係作りに着手、また海外展開として2016年4月に中国現地法人山月堂(上海)装飾有限公司を設立、在庫、配送、施工体制など本邦と同様のビジネスモデルを導入し、中国市場に根差す営業活動を開始しました。

現在Korosealは壁装材以外の商品の取扱いはありませんが、床材やファブリックのspecifier事業主は壁装材とほぼ同一であり、当社取り扱いの床材やファブリックを販売することにより、本邦における当社と同様のインテリア素材全般をカバーするビジネスモデルを構築することを目標としております。

現在の世界の内装材料業界では、床材製造においてM&A等を通じ規模の拡大が進むとともに、これらのプレイヤーのグローバルな展開が加速しています。一方、ハイエンド商品ではデザインのグローバル化も進みつつあり、Korosealも欧州の壁紙メーカーとの取組みを既に進めています。こうした動きの中、本案件は商品の調達、デザインや機能の開発において当社の既存事業との相乗効果は大きく、当社が従来の日本市場に加えて、米国市場に参入する事は、サンゲツグループ全体の企業価値向上に大きく貢献するものと考えております。